

令和4年度 第4回 近畿中部防衛局入札監視委員会審議概要

近畿中部防衛局

開催日及び場所	令和5年3月15日(水) 大阪合同庁舎2号館 4階 共用会議室I
委員	小原 正敏 (弁護士) 北岡 慎太郎 (公認会計士) 奥 和義 (大学教授) 山本 貴士 (大学院教授) 笠原 宏 (大学院特別客員教授)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和4年1月1日～令和4年12月31日 (近畿中部防衛局・東海防衛支局は、令和4年10月1日～12月31日)
審議対象件数	近畿中部防衛局管内の航空自衛隊 50件 近畿中部防衛局 29件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	10件	(審議概要)	
建設工事	一般競争	1件	入札等の状況について
	一般競争(政府調達協定対象外)	7件	
	公募型指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	2件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p><b>【抽出案件】</b></p> <p><b>【第2補給処】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) <b>[空調機補修工事]</b></p> <p>低入札価格調査基準額算定表、特別重点調査基準額算定表について説明願う。</p> <p>低入札価格調査算定表の掛け率は、決まっているのか。</p> <p>どの金額がどうなれば特別重点調査の対象基準となるのか。</p> <p>入札時に提出している工事内訳明細書も確認しているのか。</p> <p>その内訳の中で1つでも該当するものがあれば実施するのか。</p>	<p>防衛省が定めている根拠に基づき算定する基準額となる。</p> <p>防衛省により定められており、諸経費ごとに定められた掛け率を乗じている。</p> <p>予定価格算出の基礎となった金額に、各項目ごとに定められたかけ率を乗じ、直接工事費、諸経費の何れか1項目でも下回った場合に調査を行う。</p> <p>確認している。</p> <p>貴意のとおり。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>特別重点調査の資料に提出に必要な書式一式の資料を業者に提出させ、1つずつ確認するのか。</p> <p>本工事は下請を使っているのか。</p> <p>入札公告に参加資格「B」とあるが、下請を使うときは、誓約書をつけるのか。それとも口頭での確認になるのか。</p> <p>下請を使う時は、元請け会社の下請の管理等に注意してください。</p> <p>特別重点調査基準価格の現場管理費調査基準額は、予定価格の現場管理費より高い金額になっているが問題にはならないのか。</p> <p><b>【第1輸送航空隊】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [小牧(4)隊舎等衛生設備補修工事]</p> <p>1者応札の理由は何か。</p> <p>過去に同様の工事を行った事はあるか。</p> <p>その時、他の業者は入札に参加していたか。</p> <p>予定価格について、経費毎、詳細に算定しているが、落札率が99.8%であるが適正な価格であるか。</p> <p>落札率が高い案件だが、その落札価格の内訳と予定価格の内訳に大きな差はあったか。</p> <p>今回は1者だが、他者の入札参加意思等はなかったのか。</p>	<p>貴意のとおり。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>誓約書に関しては、下請を使う、使わないに関わらず全ての業者から徴取している。 下請業者があるものは、施工体制台帳の下請に関する事項で確認している。</p> <p>承知した。</p> <p>特別重点調査基準価格算定表の現場管理費は、直接工事費の1割を加算した額とする根拠に基づいて算定しているため、問題とはなりません。</p> <p>一般競争入札の公告を行い、結果として1者応札となったが、詳細は不明である。</p> <p>行っている。</p> <p>他者も入札に参加していた。</p> <p>適正に積算した価格である。</p> <p>大きく違う所はなかった。 この入札は1回目が不調であったため再公告を行ったものである。そのため、入札参加者が金額を下げ、高落札率となったと思料する。</p> <p>入札参加実績のある者に聞き取りを行ったところ、他の請負業務及び人員不足等で、本工事の入札に参加が難しい等の理由から今回の入札参加を見送ったとのことであった。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【第2補給処】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [消火薬剤タンク補修工事]</p> <p>低入札価格調査を実施しているが、特別重点調査を実施していないのは、特別重点調査基準に該当しなかったからか。</p> <p>低入札価格調査で、財務諸表を提出しているが、どの書類を提出してもらうか決まりがあるのか。</p> <p>ではどの部分に注目して経営状況を確認しているのか。</p> <p>特に経営状況を確認する際、特にどこを確認するというルールはないのか。</p> <p>一般的には、貸借対照表を見た方がいい。資産の部から負債の部を引いた純資産額がマイナスであれば、損益計算書で当期純利益が黒字でもその期だけが黒字で過去は赤字であることもある。損益計算書だけでなく貸借対照表で判断したほうがいい。</p> <p>低入札価格調査の経営状況に関する資料で銀行から聞き取り調査を実施しているが、銀行から照会回答をもらうことにより航空自衛隊がどういう判断ができるのかということが重要であるため、「問題ない」だけでなくもう少し詳細を書いた方がいい。</p> <p><b>【第2補給処】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [体育館及び庁隊舎屋根塗装工事]</p> <p>空調機補修工事や消火薬剤タンク補修工事と異なり、落札率がかなり低いが、予定価格は適切なのか。</p> <p>また予定価格が適切である場合、低入札価格調査の結果に問題ないのか。</p> <p>安価になる傾向があるなら過去の安い価格を参考に率を用いる事や、似たような工事事例から割引率を算出して、予定価格を下げるなどしないのか。</p>	<p>貴意のとおり。</p> <p>会社の経営状況がわかる書類の提出を指示している。</p> <p>損益計算書の当期純利益である。</p> <p>特に定められていない。</p> <p>承知した。</p> <p>承知した。</p> <p>「公共建築工事標準単価積算基準」等各項目のそれぞれの積算根拠に基づき適正に積算している。</p> <p>塗装工事は、従来から安価になる傾向があり、足場等の資材を確保している業者が多く、入札額を安価にできる要因があることを確認している。</p> <p>積算根拠が定まっていないものは、業者見積を採用し、市場価格を反映している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>経営状況の資料の販売費・一般管理費内訳書をみると、従業員給料手当の額が安価にみえるが少人数の企業なのか。</p> <p>応札した者のうち2者が無効となっているが、なぜか。</p> <p><b>【幹部候補生学校】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [変圧器等改修工事]</p> <p>応札者5者のうち予定価格に近いのが1者、他の4者は予定価格と入札金額に開きがある。予定価格の積算の根拠は何か。</p> <p>業者見積を2者取得し、低価格の見積を採用し予定価格を作成している。予定価格より更に、入札金額が安価になっていることに問題は無いのか。</p> <p>落札業者の入札価格について、内訳を確認しているのか。</p> <p>落札者の入札額は、安価であったが、部材の品質は適正であるのか。</p> <p><b>【近畿中部防衛局】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [岐阜試験場(4)庁舎改修等建築工事]</p> <p>総合評価方式で評価点の各項目のうち0点が複数あるが、どのような理由からか。</p> <p>入札額が調査基準価格を少し上回る額の者が落札者となっているが、この結果について疑念はないという事で良いか。</p>	<p>少人数の企業であることを確認している。</p> <p>低入札価格調査の対象となり、その旨を開札後に伝えたところ調査に応じないとのことであったので無効とした。</p> <p>公共建築工事積算基準等資料（令和4年度改定）等に加え、積算根拠のない項目については業者見積を採用し積算している。</p> <p>低価格で入札した者は、在庫を保有していたためと思料される。</p> <p>内訳書を受領し確認している。</p> <p>部材の品質は、問題なく適正です。</p> <p>最終評価点が0点のものは、入札額が調査基準価格を下回っていたため、追加資料の提出を求め、資料内容の確認及びヒアリングを行ったところ、内容に不備があったためである。</p> <p>また、「企業の信頼性・社会性、その他」の項目では、企業として賃上げを行うと表明した者については加点しているが、表明のなかった者については0点としている。</p> <p>貴意のとおり。 当局の過去の類似案件の積算価格内訳書及び見積算定表を参考にして、おおよその調査基準価格を推察することができたのではないかと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>入札参加者から参考見積を取って積算した項目はあるのか。</p> <p>どの建具メーカーから見積りを取っているか、入札参加者は承知しているのか。</p> <p><b>【近畿中部防衛局】</b>  <b>○一般競争契約</b>  <b>[岐阜(4)消音装置改修工事]</b></p> <p>一者応札となった理由は何か。落札者が改修する消音装置を建設しているからか。</p> <p>特殊な工事のようであるが、同種工事での施工実績がある者は他にいるのか。</p> <p>実績があっても他社が建設した建物の改修は難しいのか。</p> <p>ゼネコンとかの企業ならば、消音装置の施工も可能ではないか。</p>	<p>入札参加者からの見積は取っていない。ただし、工事内容に建具改修が含まれているため、建具メーカーの見積を参考に算定している項目はある。</p> <p>過去の工事については、見積りを取ったものの査定内容も公表しているため、推測することはできると思料する。</p> <p>消音装置は建物内で航空機のエンジンテストを行う施設であり、施設の建設において工事受注者が有するノウハウにより設計施工される。</p> <p>本工事は既設消音装置を改修するものであることから、施設の特性上、改修するにおいて、当初、当該消音装置を建設した者が、建設時におけるノウハウを活用できるなど知識があるため、同者が有利な状況にあると考えられる。</p> <p>他者を排除する考えはないものの、他者の参加がなかったのは施設の特性を知ってのうえで、参加しなかったのではないかと思料する。</p> <p>同様の消音装置の施工実績がある者は、本工事受注者を含め3者と聞き及んでいる。</p> <p>入札公告で本消音装置に必要な性能要求を示しており、工事完成時に所要の性能を満たしているのか確認を行い、仮に性能を満たしていない場合は工事受注者の費用負担により性能を満たすまで改修を行うこととなる。</p> <p>このため、他者が建設した消音装置においては、既設消音装置の性能を理解したうえで、自者のノウハウを取り入れ改修計画を立てることになるため、検討に要する費用や時間が更に要することになるものと思料する。</p> <p>一般的な建設工事として考えればゼネコンでの施工も可能と考えられるが、消音装置の施工実績のある3者はいずれも防衛関連企業であり航空機やエンジンの製造を行っている者です。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>高落札率となっているが、予定価格はどのように積算したのか。</p> <p><b>【東海防衛支局】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [岐阜飛行場周辺地区(R4)境界柵設置等工事]</p> <p>予定価格はどのように積算しているのか。</p> <p>広く公表されているものを使用しているため、予定価格に近い積算ができたのか。</p> <p>毎年、同じような工事を行うのか。</p> <p>愛知・岐阜・三重から公募しているのに、岐阜の業者しか入札に参加しなかったのは何故か。</p> <p>入札者が2者しかいなかった理由は何か。</p> <p>いつも同じ業者が落札しているのか。</p>	<p>航空機に関するノウハウ、性能要求達成の難しさ及び過去の施工実績から防衛関連企業が有利な条件であると考えられ、ゼネコン企業の参加がなかったと思料する。</p> <p>本工事の積算は、国土交通省制定の「公共建築工事標準単価積算基準」に基づき算定しており、同基準では「専門工事業者の見積価格を参考に定める」となっている。本工事は施設の特異性から設計施工一括発注方式で入札公告しており、応募の際に設計提案書及び見積書を提出するようにしており、当局において当該見積書の価格を査定を行ったうえで積算価格を算定していることから、応募した者が提示した見積書の金額と近似になったものと思料する。</p> <p>国土交通省の施工パッケージ型積算方式による単価及び物価誌等を利用し、積算している。</p> <p>そう思料する。</p> <p>防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、航空機騒音が特に大きい区域に居住する住民からの申請により、移転措置を行い、その土地を買収している。その土地を周辺財産として適切に管理するため、境界柵の設置や境界標の建植の工事を毎年行っている。</p> <p>工事費が安価なことが影響しているのではないかと思料する。</p> <p>一般的に工事の発注は年度が明けて夏に向けて行われる事が多いため、手持ち工事で手一杯の時に、安価な工事を入札する業者は少ないのではないかと思料する。</p> <p>令和2年度は今回入札に参加した者のうち落札できなかった者が落札している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>いつも同じ業者が参加しているのか。</p> <p><b>【近畿中部防衛局】</b> ○一般競争(政府調達協定対象外) [白山(4)給水施設新設等土木工事監理業務]</p> <p>応札者2者のうち1者が予定価格を大きく超えた額で入札しているが、予定価格の積算はどのように行っているのか。</p> <p>本入札の評価点のうち、「業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他」が0点の者があるが、どのような理由からか。</p> <p>評価点の内訳に記載されている項目の名称と、評価の内容は一致しないという事か。</p> <p>履行確実性を求める総合評価方式であるが、工程計画とか実施フローが0点の者が落札しているが、項目名と評価内容が一致していないので問題はないという事か。</p> <p>配点について、入札参加者は承知しているのか。</p> <p><b>【近畿中部防衛局】</b> ○公募型プロポーザル方式 [小松(4)誘導路等補修調査検討]</p> <p>一者応札となったのは、どのような理由が考えられるのか。</p> <p>過去に同様の業務で他者が応札した実績はあるのか。</p> <p>頻繁に行われる業務ではないという事か。</p>	<p>令和元年度は落札者のほかに、2者が参加しており、いつも同じではない。</p> <p>積算は当省のHPにも掲載されている「建設工事に係る事業監理業務積算価格算定要領」に基づき積算している。</p> <p>評価項目として、賃上げ表明をするか、ワークライフバランスに積極的な者であるか、若手技術者及び女性技術者の活用をする等があるが、どの項目にも該当するものがなかったため0点としている。</p> <p>標準書式を使用しており、項目名称が略記されているため、実際の評価内容とは一致していない。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>公告の段階で評価基準表を公にしているので、各参加者は配点について掌握している。</p> <p>本業務は、小松基地の誘導路、駐機場のコンクリート舗装の路面状況等を調査し、その結果を踏まえ補修方法を検討する業務である。調査に使用する機材が特殊かつ数が少ないため本調査の期間中に手配できる者が1者しかなかったものと思料する。</p> <p>当局管内で、同様の業務を発注した実績はない。</p> <p>貴意のとおり。</p>

	意見・質問	回答
	<p>予定価格の算定はどのように行っているのか。</p> <p>入札方式は、調査の仕様を示すこと等により一般競争の総合評価方式にできると思料するが、公募型プロポーザルにした理由は何か。</p>	<p>積算基準がないため、調査会社から見積りを徴取し、査定した上で算定している。</p> <p>本業務は、調査の結果を踏まえ、現状の評価及び今後の改良のための基本検討を行うものである。専門的な技術を要求するものであることから公募型プロポーザルとしている。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義案件		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問		なし	なし
○それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析等を行った資料を委員に配布	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問	なし	なし
○それに対する回答等		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回答）
該当事案なし



令和4年度 第4回 近畿中部防衛局入札監視委員会審議概要

近畿中部防衛局

開催日及び場所	令和5年3月15日(水) 大阪合同庁舎2号館 4階 共用会議室I
委員	小原 正敏 (弁護士) 北岡 慎太郎 (公認会計士) 奥 和義 (大学教授) 山本 貴士 (大学院教授) 笠原 宏 (大学院特別客員教授)

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和4年1月1日 ~ 令和4年12月31日	
審議対象件数	近畿中部防衛局管内の航空自衛隊 4, 886件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	(審議概要) 入札の状況について
一般競争	3件	
公募型指名競争	0件	
企画競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p><b>【抽出案件】</b></p> <p><b>【第2補給処】</b> ○一般競争 [若年定年退職者給付金業務]</p> <p>部外に委託する必要がある業務なのか。</p> <p>具体的にサービス向上とは何か。お金を払うのと、サービスを天秤にかけたときにつりあうものなのか。</p> <p>支払いや計算が複雑であり、隊員が行うよりも専門の知識をもっている者がおこなった方が効率も良くできるという事か。</p> <p>2者から下見積書を徴取しているが、応札が1者であるのはなぜか。</p>	<p>内閣府の民間活用施策の一部として実施しており、民間開放により給付業務のノウハウを有する業者に、任せることによりサービス向上を目的とし、部外委託している。</p> <p>給付金の支払及び調整業務が4つに分かれており、部外委託し、業務指示書に基づいて計算し、支払うことにより信頼性を確保している。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>開札後、入札不参加だった者に確認したところ、入札日時を失念しており応札ができなかったという回答を得ている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【第2補給処】</b> ○一般競争 [特別高圧電力]</p> <p>予定価格を積算する際に、A者の電力料金を採用しているが、A社が応札していないのは何故か。</p> <p>前年も今回と同じ者が落札したのか。</p> <p>前年の落札者は参加しなかったのか。</p> <p>落札者は今回はじめて参加したのか。</p> <p>高落札率となっているが、予定価格の推測はできるのか。</p> <p>落札者は、本社が福岡県だが、営業所などがあるのか。</p> <p><b>【第6航空団】</b> ○一般競争 [宿舍借上]</p> <p>小松市内に、ホテルが数多くあるが、なぜ1者しか入札に参加しなかったと考えられるか。</p> <p>落札者は今回必要数の部屋を確保できたということか。</p> <p>今回の様な調達は例年あるものなのか。</p> <p>市価調査に応じた落札者が、同価格で入札に参加したことにより、落札率1になったのか。</p> <p><b>【第1輸送航空隊】</b> ○随意契約 [電力需給]</p> <p>競争入札を行ったが、落札決定しなかったため、随意契約となったのか。</p>	<p>燃料費の高騰により落札できないと判断し、辞退するという回答を得ている。</p> <p>今回とは違う者が落札している。</p> <p>A者と同じく燃料費高騰のためと聞いている。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>岐阜県内に電力を供給している会社の料金表はホームページで公表されており、推測することは可能かと思料する。</p> <p>北海道などにも支社があると確認している。</p> <p>落札者以外のホテルに市価調査を依頼したが、ホテルの部屋が確保できないという理由で市価調査の段階で辞退されたこともあり、落札者のみの参加になったと思料する。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>毎年あるものではない。</p> <p>貴意のとおり。</p> <p>貴意のとおり。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>随意契約のため予定価格と同額になったことで良いか。</p> <p>官側が何らかの申入れをすることで契約金額を安価にできるものなのか。</p> <p>官側から予定価格を提示するという事なのか。</p>	<p>貴意のとおり。</p> <p>相手の定める最終保障供給約款に従って申込みするものなので値引はない。</p> <p>最終保障供給約款に定められた金額をもって申込みを行うため、予定価格の提示ということではない。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	